

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和8年度～令和12年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（きたかみがわじょうりゅう） 北上川上流森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 盛岡森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、岩手県のほぼ中央部に位置する盛岡市をはじめとする2市4町に所在する約62千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、南北に流れる北上川を境に、東部が北上高地地域、西部が奥羽山脈地域に大別される。</p> <p>奥羽山脈は、秋田県境沿いに南から秋田駒ヶ岳、乳頭山、八幡平などの山地群が日本海側と太平洋側を画する脊梁となっている。また、八幡平のやや南方からは三ッ石山、岩手山などの岩手火山群が盛岡市の北西まで張り出し、岩手山の山麓には広い裾野が展開している。</p> <p>一方、北上山地は一般に起伏が少なく、毛無森など1,000m以上の山々が平坦な山頂を連ね、隆起準平原の地形を呈している。</p> <p>本計画区内の国有林の86%が保安林に指定されており、水源涵養機能はもとより、山地災害防止機能や土壌保全機能等の森林の有する多面的機能の高度な発揮が期待されている区域である。</p> <p>また、本計画区内には、十和田八幡平国立公園、外山早坂高原国立自然公園をはじめ、葛根田川・玉川源流部森林生態系保護地域、早池峰山周辺森林生態系保護地域及び自然休養林等が選定され、優れた自然・景観に恵まれ森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。冬期には網張・雫石・岩手高原の3つのスキー場がエリア内にまとまっていることから、スキーリゾート地となっている。</p> <p>林業・木材産業については、都市部への供給地として御堂マツ、鶯宿スギといった銘木など、古くから林業生産活動が行われており、広葉樹資源の供給地でもある。</p> <p>また、地域では大規模製材工場が稼働しており、さらに近隣地域においてはバイオマス発電施設の建設が進むなど、国有林の木材の安定供給への期待が高まっている。</p> <p>森林の現況は、人工林を中心とした育成林面積が26千haで、カラマツ(46%)、スギ(33%)、アカマツ(20%)が主な樹種となっており、天然林面積は30千haで、主にブナ、ナラ類、カンバ類等の広葉樹とアカマツが主体となっている。</p> <p>人工林の齢級構成については、12齢級をピークとした一山型であり、10齢級以上の人工林の割合は約8割となっており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後</p>		

	<p>の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも寄与するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業の評価を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、伐採と造林の一貫作業システムやエリートツリー等のコンテナ苗による更新作業、下刈の省力化や列状間伐等による保育作業の実施により低コストで効率的な作業を推進する。さらに、花粉の発生源対策となるスギ等の人工林の伐採・植替え等を促進するとともに、森林病害虫獣被害の防止対策や生物多様性に配慮した森林施業に取り組む。路網整備においては、伐採搬出の作業システム等に対応した整備を行う。</p> <p>また、地元からの意見として、松くい虫やナラ枯れ、ニホンジカ等による森林病害虫獣害対策及びツキノワグマの生息環境に配慮した森林整備等についての要望があったことから、関係機関と被害状況の情報共有を図るなど連携した防除対策に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>679ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>8,083ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>7.50km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.59km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 7,039,519 千円（税抜き 6,399,563 千円） 	森林整備	更新面積	679ha		保育面積	8,083ha	路網整備	開設延長	7.50km		改良延長	0.59km
森林整備	更新面積	679ha											
	保育面積	8,083ha											
路網整備	開設延長	7.50km											
	改良延長	0.59km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">23,507,426 千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">8,003,364 千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">2.94</td> </tr> </table>	総便益（B）	23,507,426 千円	総費用（C）	8,003,364 千円	分析結果（B／C）	2.94						
総便益（B）	23,507,426 千円												
総費用（C）	8,003,364 千円												
分析結果（B／C）	2.94												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>効率的な森林整備と路網整備を適切に進めることにより、森林の生物多様性の向上及び公益的機能の発揮、並びに山村の生活基盤の整備と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止や国土保全、水源涵養等の公益的機能を発揮し事業の実施を通じて生産されるスギ・カラマツ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈の省力化等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとし、路網整備では、開設・改 												

	<p>良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備と路網整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも本事業の効率性が認められる。</p> <p>・有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、本事業の有効性が認められる。</p>
--	--

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：岩手県

施行箇所：北上川上流森林計画区(盛岡森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,483,284	
	流域貯水便益	1,438,036	
	水質浄化便益	6,069,937	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,894,260	
環境保全便益	炭素固定便益	1,522,880	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	233	
	木材利用増進便益	39	
	木材生産確保・増進便益	922,654	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,176,103	
総 便 益 (B)		23,507,426	
総 費 用 (C)		8,003,364	
費用便益比	$B \div C = \frac{23,507,426}{8,003,364} = 2.94$		

参考

費用便益比 (i=0.02)	$B \div C = \frac{35,066,498}{9,471,454} = 3.70$		
費用便益比 (i=0.01)	$B \div C = \frac{44,161,055}{10,471,561} = 4.22$		

森林環境保全整備事業 北上川上流森林計画区（岩手県） 盛岡森林管理署 事業概要図

北上川上流森林計画区位置図
(盛岡森林管理署)



森林整備位置図



地拵



植付



林道（林業専用道）開設



間伐



下刈

